

[ワーク] 子どもにとってどんな環境？

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	6分

準備

A4用紙1枚（個人受講の場合のみ）

- ①今の保育環境について保育者がハラハラしていること、制限や禁止していることはありませんか。なぜハラハラしたり、制限・禁止しているのか、各自で考えてみましょう（6分）
- ②それぞれ考えたことを、話し合ってみましょう。
※一人ひとりの考えを尊重しましょう。

*個人で行う場合、A4用紙に書き出しましょう。

memo

[ワーク] 安全に遊ぶためにみんなで考えよう

準備

A4用紙（グループの場合2枚、個人の場合1枚を2つに折る）

進め方

リスクとリターンを考えて書き出してみよう。

ワーク時間	
グループの場合	12分
個人の場合	6分

椅子をままごとの家の囲いにする（2歳）

①予測される危険（リスク）

②その経験から育つこと（リターン）

memo

[ワーク] 乳児の遊びと環境について語り合おう

準備

- 4～5人のグループを作る
- 2cm幅の付箋、1人5枚程度
- A3用紙、各グループ1枚

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	5分

- ①乳児の姿を思い出し、安全に配慮しながら豊かな遊びをめざすために、この講座から気づいたこと、考えたことを付箋に書き出す。
- ②A3用紙に貼り出しながら、考えを伝えあい、語り合う。
似ている内容の付箋はまとめ、分類するとよい。
※乳児の担当ではない方も、一緒に考えてみましょう。
一人ひとりの考えを尊重しましょう。

*個人で行う場合、①付箋に書き出したものを基に、②考えをまとめる。

memo

[ワーク] 幼児の遊びと環境について語り合おう

準備

- 4～5人のグループを作る
- 2cm幅の付箋、1人5枚程度
- A3用紙、各グループ1枚

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	5分

- ① 幼児の姿を思い出し、安全に配慮しながら豊かな遊びをめざすために、この講座から気づいたこと、考えたことを付箋に書き出す。
- ② A3用紙に貼り出しながら、考えを伝えあい、語り合う。
似ている内容の付箋はまとめ、分類するとよい。
※幼児の担当ではない方も、一緒に考えてみましょう。
一人ひとりの考えを尊重しましょう。

*個人で行う場合、①付箋に書き出したものを基に、②考えをまとめる。

memo

[ワーク] 子どもの目線で保育室を見てみよう

ワーク時間 5分

準備 人数が多い場合は、クラス単位のグループになる。
2センチ幅の付箋、グループにA3用紙2枚

①クラスの子どもが目線になり、保育室内を歩いてみましょう。
子どもには、どのように見えているのか感じ取ってみましょう。

- ・入口から保育室に入るまでの道のりは？
- ・保育室内にて、おもちゃの棚や保育者の棚、掲示物は？
- ・床、ソファやクッション、椅子など、子どもの体に触れるものは？
- ・その他

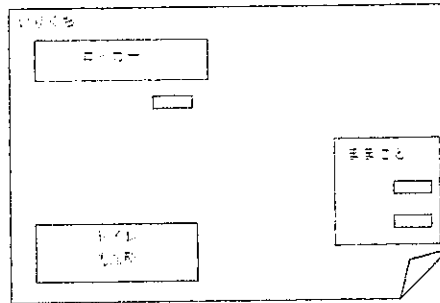
memo

[ワーク] 子どもの目線で保育室を見てみよう

ワーク時間 10分

- ②A3用紙に、環境図を描きましょう。
各自感想を付箋に書き込んで、環境図に貼り出していきましょう。

※記録のためにここで一度、
この環境図と付箋の様子を
写真に収めておくといいいでしょう。



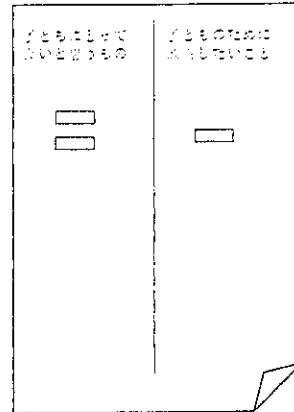
memo

[ワーク] 子どもの目線で保育室を見てみよう

ワーク時間 5分

新たにA3用紙を用意します。縦に半分に折り…

- ③子どもにとって、ワクワクする、楽しい、嬉しい、好きだ、などポジティブな気持ちになる付箋をA3用紙左側に貼りましょう。
- ④保育室が、子どものための環境になっていましたか。危険を感じることはありませんでしたか。ほったらかしになっていることはありませんでしたか。改善したいことは、右側に貼りましょう。



memo

[ワーク] 子どもの目線で保育室を見てみよう

ワーク時間 5分

- ⑤右側に貼った改善したいものについては、
すぐに変えたいと思うものを上の方に、
長期にわたって変えていくものは下の方に貼り、
改善の見通しを立てましょう。

すぐに変えたいもの	長期にわたって変えていくもの
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

memo

[ワーク] 乳児期から低学年までのつながりを見てみよう！

準備

ワーク時間 10分

色付きのペン（5色） 前ページのスライド（指針・要領等の表）
A4用紙1枚（個人受講の場合）

進め方

- ① 以下の言葉（類似語を含む）にそれぞれ色をつけてみましょう。
 - i) 十分に、伸び伸びと体を動かす
 - ii) 動き、動作語（歩く、立つ、など）
 - iii) 自ら体を動かそうとする意欲、しようとする
 - iv) 楽しさ、心地よさ
 - v) 遊び、運動遊び
- ② 色付けしたシートをもとに、気づいたことを話し合ってみましょう。
* 個人で行う場合は、②では気づいたことをA4用紙に書き出しましょう。

memo

[ワーク] 動きを見つけよう！

ワーク時間 10分

準備

次ページのスライド（動きのチェックリスト）

進め方

- ① 普段、園で行っている身体を使った遊び(場面)を一つイメージしてください。
- ② チェックリストをもとにイメージした遊びでの子どもの動きをチェックしてみましょう。その際、一人の子どもの動きに着目しても、その遊びに関わる複数の子どもの動きに着目しても構いません。
- ③ それぞれイメージした遊びの中で子どもたちはどのような動きを、何種類経験しているか話し合ってみましょう。

*個人で行う場合、③では気づいたことをまとめてみましょう。

memo

[ワーク] 動きのチェックリスト (45の動き)

動き	動き	動き
1寝ころぶ・寝る-起き上がる ✓	16すべる	31うつ・たたく(ボールなど) ✓
2はう	17踏む・踏みつける	32振る (なわや棒など)
3ころがる (揺れる)	18スキップする・はねる	33まわす
4まわる	19走る	34積む・のせる
5乗る・跳び乗る	20追いかける-逃げる	35ころがす
6こぐ (プランコなど)	21かわす・よける	36掘る
7こぐ (乗り物)	22くぐる	37つく (ボールなど)
8登る・よじ登る	23入り込む (枠/箱など)	38ける
9おりる	24持つ・持ち上げる-降ろす	39ひく・ひっぱる
10わたる	25ささえる	40しぼる・むすぶ
11ぶらさがる	26運ぶ・動かす	41止まる
12しがみつく	27押す	42立つ-すわる・しゃがむ
13逆立ちする	28おぶう-おぶさる	43つかむ
14跳ぶ・跳びこす	29投げる	44すくう-かける
15またぐ	30つける・捕る	45ちくる

memo

[ワーク1] 動きを引き出す環境を見つけよう！

準備

5 cm幅の付箋、1人10枚程度
グループ毎にA4用紙2枚程度

ワーク時間
グループの場合 7分
個人の場合 5分

進め方

- ① 動きの一つを選びます（例えば、とぶ、ころがる、引く、など）。
- ② 取り上げた動きが経験できる環境（場の設定）や教材（遊具や用具、素材）を付箋に書き出しましょう。その際、指示してやらせるのではなく、子ども（自分）が「ついやりたくなる場面を想像して考えてみましょう。」
- ③ 各自で考えた環境や教材についてA4用紙に貼り出して話し合ってみましょう。

*個人で行う場合、③では考えをまとめてみましょう。

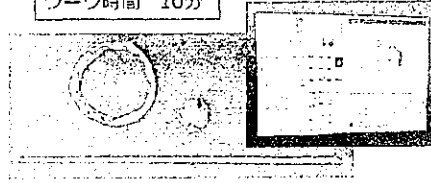
memo

[ワーク2] バリエーションを引き出す教材を考えてみよう！

準備

新聞紙 4枚 テープ

ワーク時間 10分



進め方

- ① ボール、棒、輪っかをそれぞれ1枚の新聞紙で作ります（3枚使用）。
- ② 作ったボール、棒、輪っか、何もしていない広げた新聞紙の4種類を、それぞれ「できるだけ遠くに」投げてください。この時、自分の体の動きを意識してみてください。何度か試してみてください。
- ③ 新聞紙で作った4種類のモノの投げ方について話し合ってみましょう。

*個人で行う場合、③では気づいたことをまとめましょう。

memo

[ワーク]

遊び要素を高める工夫を考えてみよう！

準備

次ページのスライド 5cm幅の付箋、1人10枚程度

グループ毎にA4用紙2枚

ワーク時間
グループの場合 13分
個人の場合 10分

進め方

- ① 次のスライドの保育者の指示や場の設定について遊び要素を高める工夫を考えてみます。
遊び要素（子どもの自己決定）を高めるためには、どのような場の工夫（再構成）が考えられるか付箋に書き出し、そのように考えた理由についても書きましょう。
 - ② また、どのような指示（言葉掛け）が考えられるか書き出し、その理由についても書きましょう。
 - ③ 言葉掛けや、場の工夫（再構成）について、A4用紙に貼り出して話し合ってみましょう。
- *個人で行う場合、③では考えたことをまとめておきましょう。

memo

[ワーク] 遊びの要素を高める工夫を考えてみよう！
ビーム（一本橋）の渡り方について保育者はクラスの子ども全員に対し次のような指示を出しました。渡り方について遊び要素を高める工夫を考えてみましょう。

保育者「バランスをとって前を向いて落ちないように渡りましょう。
渡り方はこう（下図のように両手を広げて）ですよ。」



memo

[ワーク] 子どもの素朴な音楽表現を見つけよう！

準備 5cm幅の付箋 10枚程度、A4用紙 1枚

ワーク時間 10分

進め方

- ① 遊びのなかでの子どもの素朴な表現。例えば音を鳴らしたり聞いたりすることを楽しんでいたたり、体をリズムカルに揺らしたり、なんとなく歌っているようであったり……。
そんな表現を思い出して付箋に書き出しましょう。
- ② 園庭、保育室、テラス……。
その表現を、年齢、場所ごとに並べます。
- ③ それぞれの表現とその背景（環境やそれまでの経験）について話し合い、気づいたことを書き出しましょう。

*個人で行う場合は、③では気づいたことをまとめてみましょう。

memo

[ワーク] 「声の料理」にチャレンジしよう♪

進め方

- ① 声でカレーライスを作ってみる！
ジャガイモを切るときの音は？人参は？玉ねぎは？
次に、何をするか？
- ② 二人組になる。
- ③ それぞれ、どんな料理を作ろうかと考える。
- ④ 声だけで、料理を作ってみる。身振りをつけてはダメ。
- ⑤ 相手が、何を作っているのか当ててみよう！
- ⑥ 交代して、声の料理にチャレンジ。

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	4分

*個人で行う場合は、いろいろな料理にチャレンジしてみよう。

memo

[ワーク] 保育者と対話する赤ちゃんの写真から

準備

A4用紙1枚（個人受講の場合）

ワーク時間 5分

進め方

- ① 二人組になり、赤ちゃん役と保育者役を決める。
- ② 二人の会話を再現してみよう。
- ③ どんな声で話しているのか、何を話しているのか分析してみよう。

* 個人で行う場合、想像してA4用紙に書き出してみよう。

memo

[ワーク1]
気持ちを音で表現する！

ワーク時間 1分

進め方

- ① 嬉しい音ってどんな音？机を叩いてみてください。
- ② 怒った音は？ 悲しい音は？ 優しい音は？
- ③ 叩き方、音の表情には、どんな違いがあるのか考えてみよう。
- ④ 音の表情を変えるにあたり、何を参考にしているのか考えてみよう。

memo

[ワーク2] 表現した音を描いてみる！

ワーク時間 5分

準備

A4用紙1枚

- ① 先ほど叩いた嬉しい音のイメージを紙に描いてみよう。
 - ② 怒った音、悲しい音についても同様に。
 - ③ どのようなデザイン（イラスト）になったか、見比べてみよう。
- *個人で行う場合は、いろいろな感情について描いてみよう。

memo

[ワーク3] いろいろな紙を使って表現してみよう

ワーク時間 10分

準備

様々な素材の紙

進め方

- ①前のスライドの楽譜を、声ではなく、紙を使って表現する。
 - ②様々な素材の紙からどんな音が表現できるか、音を出しながら考える。
 - ③表現するパートを決め、紙の音のアンサンブルに仕上げる。
- *個人で行う場合は、両手で挑戦してみる。

memo

事例④ 情景が見える歌唱

[ワーク1] 「かたつむり」の歌を歌う

- ①かたつむりと遊んでいるように歌ってみよう。
- ②這っているかたつむりのように歌ってみよう。
- ③しとしとと降る雨の中のかたつむりを眺めているように歌ってみよう。
- ④歌い方に、どんな違いがあったかな？
何が、どのように変化したのかを考えてみよう。

© 2016 Hc4 u-Design inst

memo

【ワーク2】

「シャボン玉」の情景を表現しよう。

シャボン玉野口雨情作詞中山晋平作詞

シャボンだまとんだやねまでとんだ

やねまでとんでこわれてきえた

シャボンだまきえたとばずにきえた

うまれてすぐにこわれてきえた

かぜかぜふくなシャボンだまとばそ

© 2016 Hello-Design Inst

memo

[ワーク] 「好きな絵本」を語ろう

ワーク時間 10分

準備

自分の好きな絵本1冊
(就学前に読んだ・読んでもらったことのある絵本)
A4用紙1枚(個人受講の場合)

進め方

- ①絵本のページをめくりながら、好きなところを具体的に語りましょう。
- ②絵本に出会った経緯や読んでもらった体験などを振り返りましょう。
- ③自分がその本を相手に読み聞かせするとしたら、どのように読みたいか、考えてみましょう。
- ④奥付を確認し、出版年を確認してみましょう。

*個人で行う場合、①ではA4用紙に具体的に書き出してみましょう。

memo

[ワーク] 絵本の構造を分析してみよう

ワーク時間 10分

準備：数冊、自分の好きな絵本（乳幼児向け）をご準備ください

- ①絵本の種類はどれでしょうか？
- ②絵をじっくり眺めましょう（登場人物、背景、余白、色、発見）
- ③文字・文を読みましょう（響き、リズム、新しい言葉）
- ④絵と文の対応は？（めくりのタイミング）
- ⑤ページ間のつながりの工夫？
（構図、方向、予想や発見、くり返し構造）
- ⑥物語の構造
（行って帰ってくる、不思議な世界への入り口、困難による遅延、起承転結構造）

memo

[ワーク] 絵本と環境構成について考える

ワーク時間 10分

準備：A4用紙1人2枚

①保育室で「絵本をじっくりと楽しめる環境」をどのように構成しますか？
環境図をかいてみましょう。

②今の時期、子ども達と楽しみたい絵本は何ですか？
また、どのように絵本と子どもの出会いを設けますか？
季節、自然、行事
子どもの生活、経験、遊びにつながる
保育者が伝えたいこと

memo

[ワーク] 昔話の再体験

ワーク時間 30分

準備：可能であれば、一つの昔話について複数の作者と年代の違う絵本

①昔話を1つ選び、「素話」をしてみましょう

昔話の例

日本：ももたろう、かちかちやま、さるかに など…

②一つの昔話について、複数の作者の絵本を読んでみましょう

昔話の語り口（「3」つの繰り返し／はじまりとおわりのことば）

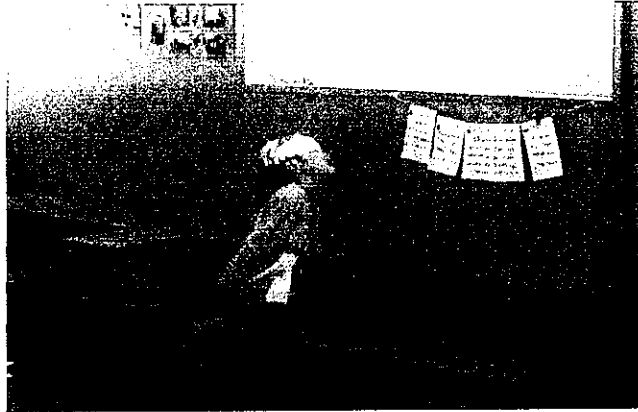
年代の違うもの（結末の違い／表現の違い／省略）

作風の違いと味わい

memo

この子どもは、何をしているのでしょうか？

二人ペアで自由に話してください。
個人受講の場合は考えてみましょう。



ビデオを止めて
話し合ってみま
しょう。(1分)

memo

[ワーク] 変化のプロセスを楽しもう

ワーク時間 30分

◆準備

はがきサイズのケント紙、パス (orクレヨン)、オリーブオイル、セロハンテープ、
ベビーパウダー、フォーク (プラスチック)、ウェットティッシュ
古新聞紙や広告紙など、テーブルが汚れないように敷く。

◆進め方

- ①ケント紙に一本の線进行かく。1本の線の表情を2人ペアで互いに観る。
 - ②自由にぐるぐる線かいていく。
 - ③オリーブオイルを指に付け、ぐるぐる線をこする→線が溶けていく。
 - ④感じるままにさらに指でこすっていく (フォークでひっかいてもよい)。
 - ⑤ベビーパウダーを指でつまんで、こすっていく。
 - ⑥完成したら、2人ペアでお互いつくったものを「Iメッセージ」で伝えあう。
- *個人で行う場合は、感想を書いておきましょう。

※「Iメッセージ」は、私が主語になって発せられるメッセージです。「表現の援助」参照。

memo

【ワーク】 見たことのない生き物を作ろう

◆準備

八つ切りの白画用紙（2枚）、八つ切りの色画用紙（1枚）
パス（orクレヨン）、のり、セロハンテープ
古新聞紙や広告紙など、テーブルが汚れないように敷く。

ワーク時間 30分

◆進め方

- ①白画用紙1枚（A）に、自由にぐるぐるをかいてみる。いろんな色でかいてみる。
 - ②もう1枚（B）に、両手でぐるぐるをかいてみる。
 - ③AかBのどちらかを選び、どちらかを手で破る（ちぎる）。
 - ④破る・ちぎる際の大きさは、いろんな大きさになるように（8回くらい）
 - ⑤破ったパーツを色画用紙の上に置く。
 - ⑥「見たことのない生き物」というテーマで、パーツをコラージュする。
 - ⑦完成したら、2人ペアでお互いつくったものを「Iメッセージ」で伝えあう。
- * 個人で行う場合は、感想を書いておきましょう。

※「Iメッセージ」は、私が主語になって発せられるメッセージです。「表現の援助」参照。

memo

[ワーク] 「自然物」と「人工物」の違いについて考えよう

準備

A4用紙1枚 筆記用具

ワーク時間	
グループの場合	10分
個人の場合	7分

進め方

- ①各自が用紙を半分に分け、自然物を使った遊びと人工物を使った遊びを対比させながら、その特徴を書き出す（4分）
- ②3、4人で結果をシェアする（3分）
- ③それらの特徴から生まれてくる、自然物を使った遊びの特性や自然のもつ意味についてグループで考える（3分）

*個人で行う場合、①特徴を書き出し、③考えをまとめておく。

memo

[ワーク]
「自然物」と「人工物」の違いについて考えよう

留意点

- ・「正解」があるわけではないので、それぞれの方が考えたこと、感じたことを自由に書いてみてください。
- ・子どもにとってだけでなく、保育者にとっての意味も同時に考えてみるとよいでしょう。

memo

[ワーク] これから活用していくことができそうな 自然の対象を考えよう

ワーク時間 10分

準備

例) 2cm幅の付箋紙、10枚程度 模造紙、A4用紙1枚(個人受講の場合)

進め方

- ①現在使っていないからこれから活用していけそうな
自然の対象を、各自が付箋に記述する(3分)
- ②植物、動物、無機物、自然事象などに分けて、
みんなの付箋紙を集め、整理する(3分)
- ③図として今後、活用できそうな自然の対象についてや、
どのような道具を用意できるかを考える。(4分)

*個人で行う場合は、①で書いた付箋を②A4用紙に分類しながら貼り、
③では考えをまとめる。

memo

[ワーク]
現在かかわっている子どもたちの経験内容を
具体的に考えよう

ワーク時間
グループの場合 10分
個人の場合 5分

準備

例) 10cm幅の付箋3枚程度、模造紙(グループの場合)、
個人の場合は、A4用紙1枚

進め方

- ①現在保育でかかわっている子どもたちが、自然とのかかわりの中で
どのような経験をしているかを、先に説明した(1)~(5)も参考に
しながら、付箋に具体的に記述する。(5分)
- ②4、5人で結果をシェアし、子どもたちが経験していることを
共有する。(5分)

*個人で行う場合、①で考えたことをA4用紙に記述する。

memo

[ワーク]
現在かかわっている子どもたちの経験内容を
具体的に考えよう

留意点

- ・ (1)～(5)に合う姿を探してくるのではなく、具体的に自然とかかわっている子どもの姿を思い出して、そこで感じているであろうことを記述していく。
- ・ 子どもの外見の姿（砂遊びをしている、飼育当番をしている）だけでなく、その子どもが何を感じているか（カップで形作るところに面白さを感じて繰り返している、当番活動はしているが義務的にやっているなど）を描く。

memo

[ワーク] 自分の、そして園としての 保育観、自然観を見つめ直そう

ワーク時間	
グループの場合	15分
個人の場合	4分

準備

例) 5 cm幅の付箋10枚程度 模造紙 (グループの場合)
個人の場合はA4用紙1枚

進め方

- ① 4回の研修を受けて、今後の保育で大事にしていきたいことや取り入れていきたいことを各自が付箋に記述する。(4分)
- ② それらを模造紙の上に出し合い、グループ化する。(4分)
- ③ 園として今後、自然とかかわる保育においてどのようなことを大事にしていきたいかを語り合い、園としての保育の方向性を共通確認する。(7分)

*個人で行う場合、①で考えたことをA4用紙に記述する。

memo

[ワーク]
自分の、そして園としての保育観、自然観を見つ
め直そう

留意点

- ・まずは自分の「やってみたいこと」「取り入れたいこと」を中
心に、子どもの経験、保育者の援助の視点両方から考えてみて
ください。
- ・みんなで考える際には、具体的な保育での場面を想定していく
ことで、それぞれの保育者の思いや意識がずれにくくなると思
います。
- ・最終的には、園の実態に合わせて、園として「したいこと」
「すべきこと」「できること」が一致する部分を探っていくて
ほしいと思います。

memo